

長後まちだより

まちの輪・ひとの和・みどりの環

2014年1月25日

長後まちだより2号

発行/長後地区郷土づくり推進会議
責任者/市川 勤
事務局/長後市民センター
電話/0466-44-1622
FAX/0466-46-7034
メール/chougo-c@city.fujisawa.kanagawa.jp

長後地区全体集会を開催いたしました！



「語ろう、長後の未来を！」をテーマに12月7日(土)長後市民センターで「長後地区郷土づくり推進会議」及び「藤沢市」が主催する「平成25年度長後地区全体集会」が開催されました。

参加者は地域の住民を中心に、各団体の方々など77名にものぼり、長後の未来に対する関心の高さがうかがわれました。

当日は第1部として「(仮称)新たな市政運営の総合的な指針」の策定状況や総合計画と一体的に進められてきた「地域まちづくり実施計画」の進捗状況や見直しの概要が説明されました。

第2部は、藤沢市が直接取り組んでいる「長後駅西口広場の改修」「都市計画道路高倉下長後線」「上高倉公園」の各事業及び神奈川県から「下土棚遊水地事業」についての報告がありました。

参加者の皆様からのご質問や意見並びにそれについての回答の一部を抜粋してご紹介します。

第1部 質疑応答

Q. 事業の中には時間がかかるものと短期間でできるものがあると思うが、全体としてどのように進めてきたのか。

A. 短期でできるものに関しては、市民センターと一体で積極的に行っている。時間がかかる事業に関しては、今後も市のほうにプッシュしていくよう考えている。

Q. まちづくり計画のゴールは報告書を出して終了ということでもいいのか。また、来年度からの新しい事業について、もっと総合的な指針に沿った内容にするべきではないか。

A. ゴールについて、まちづくり事業は平成23年～25年の三ヵ年計画で進めてきた。事業が終わったところで評価を行い、それを受けて来年度以降新しく事業をスタートする。次回の事業は残りの市長任期にあわせ4年の計画を作る。新しい指針に関わる事業についてはまだ内容がかたまっていない。本庁の役割と地域の役割を今後まとめていき、次回の全体集会等で伝えていきたい。

第2部 質疑応答

Q. 高倉下長後線について、元々の計画は道幅12mだったが、道幅16mに計画が変わり移転することになる家もあると聞いたが、なんとかならないのか。また小学校前に交通量の多い大きな道路ができるのは危険ではないか。

A. 計画時点の昭和32年当時の基準では12mだったが、現在は歩行者・自転車の安全を重視し、道幅16mという基準になっている。道幅については、あくまでも決定ではなく予定なので警察等と協議し今後決めていく。

また、小学校前の道路になるので歩道の幅員をしっかりとるように考慮する。

Q. 高倉下長後線の事業決定と工事終了の予定はどのようになっているのか。

A. 工事終了は事業着手から10年後、事業決定は来年度説明会等を行ったあとに決めていく予定。

その他にも多くの貴重なご意見やご要望が寄せられました。なお、長後市民センターで平日の9時～17時に議事録が閲覧できます。

まちづくり調査中間報告会

平成24年1月17日から25年3月31日まで、各自治会から推薦頂いた約100名のまちあるき調査員よりご提案頂いた279箇所、410項目を郷土づくり推進会議・まちづくり部会がとりまとめた内容の調査中間報告会が、11月16日(土)に、午前と午後の2部に分けて、ブロック別に行われました。

各調査員の熱い思いを、短期間に対応できること、長期にわたり解決すべき課題など、カテゴリー別に説明しました。

スクリーンを使った説明に各調査員は食い入るように聞き入っていました。

説明の後に質疑応答があり、これからも地域のことは関心を持っていくという意見もあり、活発な意見交換が行われました。

この調査報告は、さらに整理して今年の3月に市長に提言いたします。



第4回 地産地消のつどい

11月9日(土)に、第4回地産地消のつどい「長後を食べよう」が開催されました。

会場では、地元の企業が長後産の黒米を使って作った「黒米パン」や「黒米うどん」が販売されました。長後の名産品として、親しんでいただきたいと思います。また、復興支援コーナーでは、福島・宮城・岩手県の銘製品の販売、商店街のブースではお団子や乾物の販売、とん汁の提供などがあり沢山の人が賑わいました。

賑わいを更に盛り上げたのが、大道芸と藤沢総合高校吹奏楽部の演奏。大きな歓声と拍手で会場が一つになっていました。また先行企画で実施していた「第2回食べ歩きスタンプラリー」では、3名の方が全店を制覇し、豪華なすき焼きセットを獲得しました。長後を食べ、人がつながって…長後が元気になった一日でした。



平成26年度 長後地区郷土づくり推進会議 新委員を募集!!

- ◎任期 委嘱日から2年間
- ◎応募資格 次のいずれにも該当する方
 - (1) 長後地区内在住の方
 - (2) 長後市民センター等で開催予定の定例会(月1回開催)に出席が可能な方
 - (3) 本市の常勤の特別職・職員及び議員でない方
- ◎委嘱及び報酬
藤沢市長から委嘱を受けるボランティア(無報酬)
- ◎募集人員 若干名
- ◎応募方法
 - (1) 応募用紙に必要事項を記入し、持参・郵送・FAX・電子メールのいずれかの方法により長後市民センター地域担当に提出。
 - (2) 応募用紙は、長後市民センター及び市民自治推進課での配布並びに市ホームページへも掲載します。

◎応募期間

平成26年1月27日(月)から
2月14日(金)まで(期限内必着)

※選考結果は平成26年3月末日
までに書面により通知します。



編集後記

長後地区郷土づくり推進会議も平成26年4月より新しい顔ぶれで発足す

る事になりました。「地域のことは地域で」を合い言葉に活動してまいりましたが、事業の整理統合で少し後退感があります。

長後は問題が山積しており、新しい発想で課題を解決していく必要があると思います。

10月29日(火)市長と地域住民との報告会(本庁と長後のみ開催)では、当日参加された方は12名だけ、行政側24名参加、テレビ撮影等も入り長後のまちをPRするのに絶好の機会でした。今年度新しいメンバーになる方は若い人を半分位入れ、新しい考えを入れてはどうか。

話は変わりますが長年懸案であった、長後駅西口の拡張工事が始まりました。後は事業を起こす条件を緩和する等、又商店街をどうするか、新しい産業を起こす等、32,000人の長後地区住民の意識革命が必要です。(石田)